

# 投資分析の基礎知識

5

伏見 多美雄

10

## はじめに

企業の経営者、管理者、あるいはそのスタッフの人たちが、長期的な視野で計画を立てる場合には、投資と呼ばれる活動、つまりいろいろな対象に資金を投下して将来もっと大きな金額を収益として回収することを目的とする活動について、経済的な優劣を判定する必要がしばしば生じる。

15

投資の対象になるものは、工場の機械装置とか、土地や建物、車輛、事務用機器、コンピュータ……といった設備投資だけではなく、商品や資材などへの在庫投資、研究開発や人材育成のための教育投資、社債や株式などへの証券投資……など多種多様のものが考えられる。しかし、そういった投資問題の経済性を評価・検討するための基本的な考え方や計算手法には、いろいろな問題に共通に適用できるものが少ない。

20

このノートは、投資決定のための評価に不可欠な“資金の時間的価値”という考え方を中心に、基礎的な諸原則を整理し、いろいろな計画への応用の仕方を紹介しようとするものである。

25

このノートは、投資計画の専門家ではない人々のために、分析に必要な基礎知識をできるだけコンパクトに提供しようとするものである。一層詳細な理論および手法の解説は、下記の文献、あるいは、慶大ビジネス・スクールのテクニカル・ノート「財務管理」などを参照されたい。

- [1] 千住 鎮雄、伏見 多美雄 共著、 「設備投資計画法」(日科技連出版社)。
- [2] 同 上 共 著、 「新版経済性工学の基礎」(日本能率協会)。
- [3] 同 上 共 著、 「経済性工学の応用」(日本能率協会)。

30

35